

令和3年度 県立向陽高等学校 学校評価（まとめ）

1 学校の教育目標

国際化・情報化の進展など変化の著しい社会において柔軟に対応し、たくましく主体的に生き、人々から信頼される人材の育成を目指す。
 (1) 創造性に富んだ、豊かな人間性を養い、自ら学ぶ意欲を育て、生徒一人一人の個性の伸長を図る。(2) 調和のとれた国際感覚を身につけ、国際社会で積極的に行動する意欲を持った人材を育成する。
 (3) 生徒一人一人の進路に応じた特色ある教育を行い、心身を鍛え、能力や個性の伸長を図る。

2 今年度の重点目標

(1) 生徒個々の的確な実態把握と個に応じた指導の徹底を図る。国公立大学現役合格者115人、進路決定率75%を目指す。(2) 基礎学力の定着に向けた指導の充実を図る。(3) 「凡時徹底」を図り、基本的な生活習慣の定着を図る。(4) SSHに関する研究体制の構築を図る。(5) 同窓生や外部人材を活用した講演会や講義などを推進する。(6) SS課題探究や総合的な探究の時間などの探究活動の充実を図る。(7) 目標の管理と学校経営マネジメントの推進を図る。(8) 学校評価等を活用したPDCAサイクルによる学校経営・運営の改善を図る。(9) 入学者の定員確保に努める。(10) 働きやすい職場環境作りに努める。

3 評価

A：達成できた(80%以上) B：ほぼ達成した(80～50%程度) C：あまり達成できなかった(50～30%程度) D：達成できなかった(30%以下)

	具体的目標	具体的方策	自己評価	学校関係者評価	学校関係者からの意見・要望等
教育目標	創造性、豊かな人間性の育成	生徒の個性の伸長及び学科の特色を生かした教育活動による、創造性・豊かな人間性の育成	a	A	A
	国際社会で活躍する人材の育成	国際感覚の育成、国際社会で積極的に行動する意欲の育成	b		
	希望進路に応じた特色ある教育	生徒一人一人に応じた適切な進路指導の充実	a		
教育計画	教育目標を達成するための計画の立案	教育課程の整備と年間行事計画の策定・円滑な実施	b	B	B
教科指導	年間指導計画と教育課程の完全実施	60分授業の実施及び行事精選による授業時数確保	b	A	A
	基礎学力の定着と自ら学ぶ態度の育成	日々課題・週末課題等、自学自習の奨励、家庭学習の習慣化	a		
	教師の授業力向上	教育情報の共有と授業研究の推進	a		
総合探究	探究学習や直接体験を通じた課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成	地域の諸課題についての課題解決型グループ学習の実施 自身の将来像や進路の具体的な考察、目的意識を持った進路決定	a b	B	A
特別活動	自主性・自律性の確立、有意義で楽しい学校づくり	ホームルーム経営の充実と学校生活の向上	a	B	B
		生徒会活動・学校行事等、生徒の自主的活動への積極的支援	b		
生徒指導	向陽生としての自覚と責任を持ち、自ら律する態度の育成	基本的生活習慣の確立と高校生活全体を通じた全職員による生徒指導の実施	b	B	B
	交通安全・薬物乱用防止、サイバー犯罪対策	外部講師を招へいした講習会・講話の実施、安全に対する意識の向上	a		
	問題行動の未然防止	全体集会、学年朝会等における全体指導及び日頃の声かけ指導	b		
人権	生徒への人権侵害防止	人権意識高揚のための職員研修の実施	a	A	A
進路指導	目的意識の高揚、進路の早期決定	進路講話、三者面談、進路統一HR等の実施	a	B	B
	自己実現のための学力の伸長及び生徒個々の目標に向けた計画・実践の支援	夏期講座、放課後講座、対外模試の実施 進路指導部を中心とした各部署との連携協力の推進	b b		
	生徒・保護者への進路情報の提供	進路だより、進路講演会による情報提供	b		
健康・安全	自他の生命を尊重し、安全で安心な学校づくり	いじめ防止及び人権教育の充実	a	A	A
		健康相談及び教育相談の充実	a		
		衛生委員会、学校保健委員会の実施と生徒・職員の保健管理、安全管理の充実	b		
		新型コロナウイルス感染症対策の徹底	a		
環境美化	教育環境の整備及び美化意識の向上	美化委員会の活性化及び学習環境の整備・充実	b	B	B
研究研修	教職員の授業力向上及び資質・能力の向上	教職員の校内及び校外研修等の推進による専門性・授業力の向上 授業研究の継続と授業改善の推進	b a	A	A
家庭・地域連携	開かれた学校づくり	PTA活動の活性化及び保護者との連携強化	b	B	B
		ホームページ・学校通信等を通じた学校の情報発信	b		